








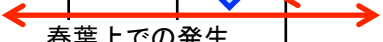
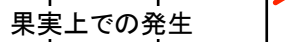






土着天敵を保護するカンキツの栽培体系 (静岡県)

《天敵に優しい害虫防除体系》


ポイント


- ▶ 炭酸カルシウム微粉末剤(炭カル剤)の利用でアザミウマ類対象の化学合成殺虫剤を削減 → 害虫抑制に働く土着天敵を保護。
- ▶ 炭カル剤散布のみではハダニが増加することも → ナギナタガヤ草生栽培でハダニの天敵カブリダニを保護強化し被害を抑制。


	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
カンキツ 発育ステージ		春芽	開花	果実肥大期				成熟期		
ナギナタガヤ 草生栽培	生育	出穂期	敷きわら状			播種	発芽・生育			
チャノキイロ アザミウマ		炭酸カルシウム微粉末剤								
		成虫発生時期								
ミカンハダニ		ミヤコカブリダニ	+++++				+++++			
		ダニヒメテントウ類	+++++							
		夏ダニ								
ミカンサビダニ										
コナカイガラムシ類										
ゴマダラカミキリ										


凡例  害虫発生時期


+ 天敵発生時期

 炭酸カルシウム微粉末剤

 マシン油乳剤

 天敵にやさしい殺ダニ剤

 天敵にやさしい殺虫剤

 ネオニコチノイド系殺虫剤

ナギナタガヤ草域栽培

8月
茎葉除草剤
の散布



9-10月播種(1年目3kg/10a)



4月に出穂



6月マルチ化(雑草抑制)

炭酸カルシウム微粉末剤



商品名 ホワイトコート
適用作物 かんきつ
使用基準 希釈倍数: 25~50倍、総使用回数: -
散布時期 6月上旬と7月中下旬
使用上の注意 タンクを絶えず攪拌、8月以降は散布しない

マシン油乳剤とハダニの土着天敵

3~4月はマシン油乳剤でハダニ防除

- ・冬~6月は天敵の発生が少ない
- ・3月散布はハダニ、カイガラムシに、
4月散布はハダニ、サビダニに効果。
- ・抵抗性発達の心配がない。

土着天敵類は6~10月に発生



ミヤコカブリダニ



キアシクロヒメテントウ

*春にマシン油乳剤を散布すれば、土着天敵により9月までハダニは問題にならない。

天敵を配慮した害虫防除

以下の害虫が発生するまたは心配される場合は、下表の薬剤防除を行う。

ミカンサビダニ	コナカイガラムシ類	ゴマダラカミキリ
6月 マシン油乳剤 7月 コテツフロアブル 9月 カネマイト・ダニエモンフロアブル	6月 ネオニコチノイド剤 8月 アプロードフロアブル	6月 ネオニコチノイド剤

実践農家の声

実証試験の中で、殺虫剤を削減してもチャノキイロアザミウマの被害は抑制され、炭酸カルシウム微粉末剤の効果を実感できました。試験中、ミカンハダニが極端に増加することではなく、天敵が働いていたかもしれません。